

◇-----◇
下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2011. 10. 24

下水道機構の『新技術情報』 第18号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

◇-----◇
先週は、マニュアル講習会で大阪出張へ行ってきました。普段はデスクワークが中心なので、機構オフィスを飛び出して、関西地区の皆さまにお会いできて良かったです。読者の皆さまにお会いする機会が少ないので、講習会やセミナー、サロン等ご参加の際は、どうぞお気軽にお声かけください。皆様からのご意見、ご感想などお待ちしております♪
さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第18号をお届けします。
業務に、Tea Breakにご活用ください。

■□■□トピックス□■□■

★インフォメーション

・技術マニュアル活用講習会（東京会場 10月12、14日、大阪会場 10月21日）を開催しました

・平成23年11月18日(金)に東京会場（発明会館）、25日(金)に大阪会場（大坂阪科学技術センター）において、下水道新技術セミナーを開催します！

★Tea Break

・休日は子ども会会長（企画部 ケンジさんからの投稿です）

★みなさまからのコラム

・掲載情報募集中！

機構の新技術情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。

★国からの情報

・10月21日付け下水道ホットインフォメーションです

インフォメーション（最新の話です）

●技術マニュアル活用講習会（東京会場 10月12、14日、大阪会場 10月21日）を開催しました。

下水道機構では、民間企業との共同研究の成果を、地方公共団体やコンサルタント等の実

務担当者の皆様が新技術を採用する際の客観的資料としていただくため「技術マニュアル」等として取りまとめています。今回の講習会では、「プラスチック製雨水地下貯留浸透施設技術マニュアル」、「プレキャスト式雨水地下貯留施設技術マニュアル改訂版」、「リアルタイム雨水情報ネットワーク技術資料」、「下水処理場施設の合成木材製覆蓋更新に関する技術資料」、「水熱処理を用いた下水汚泥のエネルギー転換および減量化技術マニュアル」、「下水処理場へのバイオマス（生ごみ等）受け入れマニュアル」について、当機構の研究員が解説いたしました。いずれも、雨水対策、設備更新、汚泥のエネルギー利用など下水道に関わるホットなテーマであり、参加者からも「費用はどの位」、「施工事例を教えてください」、「合流式下水道でも対応可能か」「既存の消化設備があっても導入可能か」など熱心な質問が出ていました。技術マニュアルの内容に関するご質問や「参考となるマニュアルを探している」「こんな技術マニュアルがほしい」といった問い合わせ・要望があれば、ご遠慮なく当機構までご連絡ください。

●平成23年11月18日(金)に東京会場（発明会館）、25日(金)に大阪会場（大阪科学技術センター）において、下水道新技術セミナーを開催いたします。

今回のテーマは「下水汚泥のエネルギー化技術」。長期的な電力不足等が見込まれる中、地球温暖化対策や創・省エネルギーに大きく貢献することが期待されている技術です。当セミナーでは、国土交通省の官民連携による下水道資源有効利用促進制度検討委員会の委員長や当機構の下水汚泥エネルギー化技術ガイドライン検討委員会の委員長等をなされている京都大学大学院 津野洋教授をお招きして、「下水汚泥のエネルギー化技術の現状と展望」について基調講演いただきます。また、国土交通省下水道部の白崎亮調整官からは「下水汚泥エネルギー化技術ガイドライン(案)」について特別講演いただきます。関連報告として、神戸市下水道河川部 瀧村課長から「消化ガス有効利用の取り組み（都市ガス導管注入等）」、鹿島建設（株）環境施設グループ 菅野課長から「下水処理場における家庭系生ごみの受け入れ事例」、当機構 資源循環研究部 石田部長から「下水道機構における取り組み（下水処理場へのバイオマス（生ごみ等）受け入れマニュアル）」、それぞれの部署での取り組み事例等もご紹介し、このテーマについて知見等を深める場にしたいと考えておりますので、皆様方、多数のご参加をお待ちしております。

お申し込みは、こちらから → http://www.jiwet.jp/school/school-02_055.htm

※テキスト代1,000円を当日会場でご負担願います。

機構の動き （機構の行事予定です）

◎10月24日 13:30～16:30

下水道機構事業報告会@アイビーホール(東京都渋谷区)

●11月10日(木)17:00～18:00

第 298 回技術サロン（場所：機構会議室、講師：国土交通省 水管理・国土保全局下水道事業課 町村下水道対策官 植松龍二氏、テーマ：「下水道事業予算について（社会資本整備交付金及び地域戦略交付金）」）

参加申し込みはこちら→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-298.htm>

●第 55 回新技術セミナー

11 月 18 日(金) 13:00～16:45 東京会場@発明会館

11 月 25 日(金) 13:00～16:45 大阪会場@大阪科学技術センター

参加申し込みはこちら→ http://www.jiwet.jp/school/school-02_055.htm

Tea Break （機構職員の感じるまま）

●休日は子ども会会長 （企画部 ケンジさんからの投稿です）

大阪講習会が無事終わり、帰りの新幹線で書いています。京都に近づき、信長の「人間～50 年～」が頭に浮かんだ。そういえば今年で 50 歳。世が世なら……と思いつつ、節目の年には色々あるなと思う、まずは、機構への派遣。もう一つは、女性からの携帯メールが増えたこと。なぜ？ それは、町内のお母さん達からのメール。断り続けた子供会の会長になったから。地元は行事が盛んで、子供会の主催行事だけで夏祭り、ラジオ体操、子供会対抗秋の大運動会←市長があいさつ。子供は、男子はソフトボール←地区の選抜チームが全国大会。女子はドッチボール。大会には応援へ。準備も含めほぼ週末地元で活動。先週は、町内のふるさと祭りで休日出勤 2 日間。宵宮イベントの司会。←ヤミ営業でお笑い芸人登場。今年は司会づいている。翌日は子供みこしの付き添い。夜は町人 500 人以上がそろって大懇親会。料理、おにぎり全て手作りだ。何かと忙しいが、良かったことは地元の人つながりができたこと。ふるさと祭り実行委員長の言葉「お握り 2 千個の力が、いざ時という時に力を発揮する。」

みなさまのコラム（皆様からお寄せいただいた情報です）

●掲載情報募集中！

機構の新技術情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。情報提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※原則 400 字以内。なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としていますが、掲載の可否は当機構にて判断させていただきます。

下水道ホットインフォメーション（2011.10.21 付、国からの最新情報です）

送信元：国土交通省都市・地域整備局下水道部下水道事業課企画専門官 石井宏幸

一日遅れの配信となりました。今週は、10月1日付で流域管理官に着任されたミスター流総・高島さんからメッセージを頂きました。

また、独法土研、神戸市、リン資源リサイクル推進協議会事務局からも情報を頂いております。

=====

10月1日付で流域管理官に就任した高島です。前回の本省勤務は流域下水道課から流域管理官への改編のとき平成14年3月まで調整官でいましたので、およそ10年ぶりで縁があるものだと感じます。

前任地の江戸川河川事務所は、利根川の下流である江戸川、埼玉低地を流れる中川・綾瀬川などを管理していました。江戸川堤防強化、中川新規築堤、江戸川河口部の行徳可動堰改築などの整備事業、埼玉低地の浸水防除のため各河川を横につなぐ三郷・綾瀬川放水路、首都圏外郭放水路などの大放水路・排水機場などを含む河川管理、清流ルネッサンス等の環境施策、地震による堤防崩壊復旧、出水対応などに携わりました。その経験を通じ、土で作られる堤防は弱点があると最悪の場合、決壊による大水害につながることから、河川管理者は堤防管理に大きな注意を払っていることを実感しました。これは、雨水対策における下水道と河川の大きな違いであると思います。

流域管理官の仕事は、以前と異なり、水環境・水循環の向上を図る流域管理の業務に加え、国際関連業務、放射性物質に関する検討会・調査業務等も担っております。課題も抱え、変化している下水道界に少しでもお役に立つよう努力してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。以前に増して複雑になっていると感じる下水道界ですが、わかりやすい情報発信に努めたいと思います。何なりとご意見等いただければ有り難く存じます。

=====

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

- 下水道セーフティネット10月1日号を発出しました【下水道事業課】
- 環境研究シンポジウムの開催について【独法土研】
- 土木研究所講演会の開催について【独法土研】
- 2011西水環境フェア「平磯探検隊」【神戸市】
- 第2回リン資源リサイクル事例視察のご案内【リン資源リサイクル推進協議会事務局】

=====

○下水道セーフティネット10月1日号を発出しました【下水道事業課】

9月は5件の下水道工事事故が発生しました。全て管きょ開削工事に伴うもので、重機と作業員との接触や、埋め戻し作業時の不注意が原因です。より一層の安全対策の徹底をお願いします。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000005.html

○環境研究シンポジウムの開催について【独法土研】

環境研究を行う国立、独立行政法人及び国立大学法人の13研究機関から構成される環境研究機関連絡会は、下記の通り、第9回環境研究シンポジウムを開催します。今回のシンポジウムでは、『わたしたちのくらしと「水」を考える ～「水」の一生を辿る～』を統一テーマとして、基調講演及び5課題のサブテーマ講演が行われます。この中では、土木研究所水質チームの南山上席研究員が、「利用した「水」への対応」と題して発表を行います。詳細は下記 URL をご覧下さい。

<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/kisya/journal/20110929.pdf>

1. 日時：平成23年11月8日（火） 12:00～17:30
2. 場所：学術総合センター 一橋記念講堂（講演）〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号
3. 参加費：無料
4. 参加登録：参加ご希望の方は、下記の特設ウェブページから登録をお願いします。

<http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/kankyo-sympo/kankyo-entry.html>

5・後援予定者（敬称略）：東京大学生産技術研究所教授 沖大幹、国土交通省気象研究所 楠昌司、（独）森林総合研究所 坪山良夫、（独）物質・材料研究機構 山田裕久、（独）土木研究所 南山瑞彦

○土木研究所講演会の開催について【独法土研】

土木研究所の研究活動のうち、第2期中期計画における重点プロジェクト研究の成果、東日本大震災調査、台風12号による災害調査に関する報告を行います。この中では、材料資源研究グループの鈴木グループ長が、「生活における環境リスクを軽減するための技術の開発」と題して、排水中の医薬品問題等に関する研究成果の発表を行います。詳細は下記 URL をご覧下さい。

<http://www.pwri.go.jp/jpn/news/2011/1110/dokenkouen2011.html> をご覧ください。

また、講演会終了後、土木技術の意見交換を行う「技術交流会」（有料）を行う予定です。

1. 開催日：平成23年11月10日（木） 10:00～17:00
2. 場所：サンライズビル（〒103-8470 東京都中央区日本橋富沢町 11-12）

3. 参加費： 無料(交流会は有料)

4. 参加ご希望の方は、下記のサイトから登録をお願いします。

<https://www.pwri.go.jp/jpn/news/2011/1110/form.html>

●2011 西水環境フェア「平磯探検隊」【神戸市】

日時：10月29日(土)10時～15時(小雨決行)

場所：垂水平磯芝生広場(神戸市垂水処理場内)

- ・地底探検(下水道すごろくなど)
- ・なぎさ街道探検(クイズラリー)
- ・ビオトープ探検(ザリガニ釣り)
- ・芝生広場探検(屋台など)
- ・スポーツ探検(サッカー教室など)
- ・海づり公園探検
- ・のりもの探検(ソーラーカー実走など)

●第2回リン資源リサイクル事例視察のご案内【リン資源リサイクル推進協議会事務局】

し尿処理施設とその他バイオマス関連施設の視察参加者を募集しております。

11月7日(月)～8(日) 秋田県仙北市環境保全センター、他
詳しくは下記 URL まで。

http://jora.smallworld.jp/press/jora_pdf_files/201110031354.pdf

=====

【参考情報】

◆災害用トイレ：丸栄コンクリート工業、「市民の森羽島公園」に9基寄贈 / 岐阜
<10/13 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/gifu/news/20111013ddl21040151000c.html>

◆多摩の汚泥 東京湾へ 大田・江東受け入れ <10/13 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/national/news/CK2011101302000027.html>

◆汚泥焼却灰が山積み、搬出できずに海上コンテナに保管/横須賀 <10/14 神奈川
新聞>

<http://news.kanaloco.jp/localnews/article/1110140007/>

◆放射性物質調査を開始 日向市 <10/15 西日本新聞>

<http://www.nishinippon.co.jp/nnp/item/268422>

◆岐阜市開発の肥料で栽培 <10/16 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/gifu/news/20111015-OYT8T00912.htm>

◆液状化、白石に深い傷 マンホール隆起など250ヵ所 <10/16 河北新報>

<http://www.kahoku.co.jp/news/2011/10/20111016t15022.htm>

◆もし昔の生活に戻ったら(3) 下水道維持に多大なコスト <10/17 MSN 産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/life/news/111017/trd11101707570003-n1.htm>

◆長岡市：原発から天然ガスへ 環境未来都市へ構想申請 /新潟 <10/19 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/niigata/news/20111019ddlk15040011000c.html>

◆前橋市測定の下水汚泥焼却炉の排ガス「大きな影響ない」 /群馬 <10/20 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/gunma/news/20111020ddlk10040244000c.html>

◆下水道事業の手引 平成23年版 好評発売中

http://www.suido-gesuido.co.jp/blog/info/2011/06/post_34.html

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方は

こちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせは

こちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

